



ブロックで楽しそつに遊ぶ子どもたち

被災児童らに 遊びの場提供

石巻でイベント

東日本大震災で被災した子どもたちにさまざま

な遊びを楽しんでもらうイベント「子どもの居場所づくり」が23日、石巻市の仮設住宅南境第4団地であった。

仮設住宅などで暮らす

幼児や小学生ら約20人が参加。I十関連企業などで行く社会貢献活動団体「フューチャー・イノベーション・フォーラム」(FIF)のボランティアアラと粘土でアクセサリーを作ったり、ブロック遊びに興じたりした。

イベントは、遊びやお絵描きを通して子どもの心をケアしているNPO法人にじいろクレヨン(石巻市)が市内の仮設住宅などで巡回開催。FIFは3月から月1回ペースで企画するボランティアアターの活動に組み込み、協力している。

FIFメンバーの稲垣哲也さん(38)は「初めのころに比べ、子どもたちも落ち着いてきたように感じる。今後も支援を継続したい」と話した。